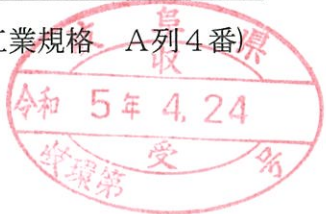


(第 1 面)

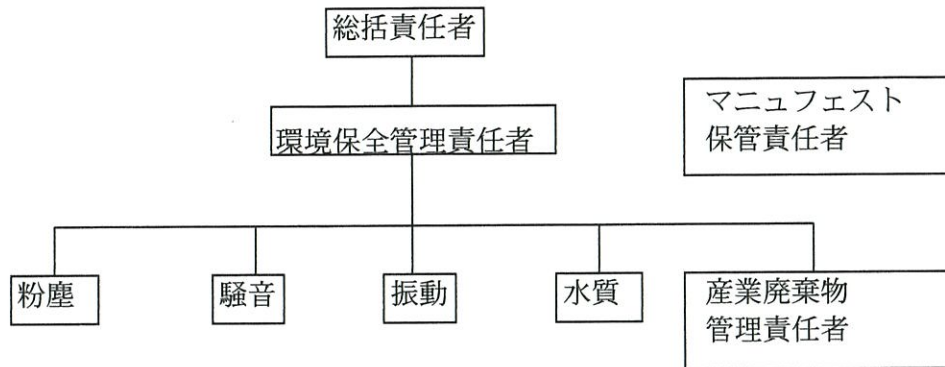
産業廃棄物処理計画書	
令和5年4月20日	
岐阜県知事 古田 肇 殿	
提出者 住 所 岐阜市橋本町二丁目20番地 氏 名 株式会社 ギチュー 代表取締役 北嶋恒紀 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0 5 8 - 3 2 6 - 5 3 1 1	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	岐中生コン穂積工場
事業場の所在地	岐阜県瑞穂市生津天王東町 2 丁目 5 4
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類:製造業 中分類:窯業・土石製品製造業 小分類:生コンクリート製造業
②事業の規模	前年度の売上額 112, 298万円
③従業員数	7名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	生コンクリート製造業 廃棄物コンクリート —— 中間養生 —— コンクリートガラ —— 委託処理 (戻りコン・余りコン) (天日乾燥) 分級工程 回収骨材 —— 再利用 スラッジ水 —— 中間養生 —— 委託処理 ミキサー及びポンプ車洗浄水 —— 上澄水 —— 再利用

(日本工業規格 A 列 4 番)



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排出量	6,260 t	t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間処理工程で発生する骨材の再利用。</li> <li>・ 戻りコンクリートの再利用及び現場との連絡を密にとり、残コン発生量の抑制。</li> </ul>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排出量	5,800 t	t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上澄水の練り混ぜ水としての再利用。</li> <li>・ 戻りコンクリートの再利用及び現場との連絡を密にとり、残コン発生量の抑制。</li> <li>・ 中間処理工程で発生する骨材の再利用の為の設備拡充。</li> </ul>		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間処理工程において回収骨材、スラッジ水に分別</li> <li>・ スラッジ水に含まれるスラッジ分を早く沈降させる。</li> </ul>
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カルシウム付着防止凝集剤の使用でスラッジ成分の減少化。</li> <li>・ 上澄み水を生コンの練混ぜ水として利用。製造工程の見直し。</li> </ul>

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】回収骨材の利用		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		



## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全 処 理 委 託 量	6, 260. 00 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	6, 260. 00 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場との連絡を密にとり、残コン発生量の抑制。</li> <li>・カルシューム付着防止凝集剤の使用でスラッジ成分の減少化。</li> </ul>		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全処理委託量	5,800 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	5,800 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間処理工程において骨材回収とスラッジ 水に分級</li> <li>・ 分級した回収骨材の再利用</li> <li>・ 分級したスラッジ 水を練混ぜ水として使用できるよう設備改善。</li> <li>・ カルシウム付着防止凝集剤を使用しスラッジ 成分の減量化。</li> <li>・ 改良材（吸収剤）を利用し残コンを路盤材としてリサイクル。</li> </ul>		
※事務処理欄			